

令和5年度

栽培技術講座

参加費
各回 500 円

温暖化による大規模自然災害、さらにはロシアのウクライナ侵攻など、地球環境や世界の食料事情は危機的状況です。食料自給率が40%にも満たない日本では、グローバルな食料システムから少しでもローカルな食料システム（自給）へと、昨年「みどりの食料システム法」が施行されました。有機農業によりCO2削減、地球環境改善、さらには食の安全をめざそうというものです。茨木オーガニック農業推進協議会は設立4年目。茨木市そして大阪府内で有機農業をさらに広げていきたいと思えます。



① 獣害研究家「雅ねえ」から学ぶ獣害対策

講師：井上 雅央 さん

日時：8月25日（金）14:00~16:00

場所：茨木市福祉文化会館（オークシアター）202

大阪でも里山ではイノシシやシカなどによる農産物の被害が多く電柵も破られたり、文字通り「いたちごっこ」。ハンターや柵だけに頼らず農作物をどうすれば守れるか、根本的な対策を獣害対策のエキスパート

井上雅央さん

奈良県生まれ。愛媛大学大学院農学研究科修士課程修了。京都大学博士（農学）。元近畿中国四国農業研究センター 鳥獣害研究チーム長。退職後同センター専門員。全国でアドバイザーとして継続的に活動。著書に『これならできる獣害対策』『山と田畑をシカから守る』など。2022年NHKスペシャルでも特集される。



② 有機農法による稲作講座

講師：西田 聖 さん

日時：9月21日（木）14:00~16:00

場所：忍頂寺スポーツ公園・竜王山荘

お米づくりを慣行農法から数年かけて無農薬栽培に転換をしていく、BLOF理論に基づいた有機稲作栽培の基礎を学び、栽培技術の向上や「持続可能な農業」を目指します。

西田聖さん

元 JA 東とくしまの営業部長。BLOF理論通りに稲作栽培したところ、多収穫かつ高食味で無農薬栽培が可能に。地域の農業者にも広め、一帯はコウノトリが舞い降りる豊かな水田地帯となる。BLOF理論で栽培した稲は竹のように繊維が丈夫で虫も寄せ付けないことを証明する動画をご覧ください。この8月頃に、NHK クローズアップ現代放映予定。



③ 菌ちゃん農法の野菜作りでみんな元気に！

講師：吉田 俊道 さん

日時：11月3日（金・祝）13:30~15:30

場所：茨木市福祉文化会館（オークシアター）303

土に空気と菌ちゃんの食べ物（草、木、竹）を与え土を発酵させ菌ちゃんだらけにする低コストの自然農の野菜栽培。

④ 堆肥の基本と応用

講師：鈴木 一哉 さん

日時：1月頃

※オンライン

フルボ酸を豊富に含む腐植土を活用した環境改善、畜産堆肥の改良、汚泥削減システムの導入など様々な事業を行っている、エンザイム(株)の鈴木さんより堆肥づくりなどについて学びます。

申込： コープ自然派おおさか

<24時間受付> FAX：072-635-0776 mail: kodama07@shizenha.co.jp

<月~金 8:30~20:00> フリーダイヤル：0120-408-300（携帯・IPフォン:088-603-0080）

※オンライン企画はメールで申し込み下さい。

茨木オーガニック農業推進協議会

農業者・NPO 法人自然派食育きちんときほん・茨木市農林課・コープ自然派おおさか（事務局）